

愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院

【地域において今後担うべき役割】（P15）

- 渥美病院と 30 分診療圏・傷病分類の重なりが大きい DPC 病院はなく、有力な急性期病院から立地的に離れており、今後も急性期医療を中心とし、回復期、療養期、までを担う「事業所完結型医療提供」を展開する役割がある。
- 救急車による搬送の率で見ると、渥美病院は 15.0%であり、医療圏の平均を上回っており診療圏における救急医療のニーズは高く、2次救急医療機関として機能する必要がある。

【今後持つべき病床機能】（P16）

- 東三河南部医療圏は急性期病院が多数立地する医療圏であるが、有力な急性期病院から離れた位置に立地していることに加え、救急車による搬送の率が医療圏の平均を上回っていることから、今後も一定の急性期機能を担っていくとともに、地域医療を守る理念の基、住み慣れた地域で医療を継続的に受けられるよう、回復期（地域包括ケア病床）・慢性期（療養病床）も備えた病棟体制を維持する。
- 需要が増が見込まれる診療科の維持・充実
 - ・呼吸器系
医療圏のシェア率については4番目に多く、効率性指数・複雑性指数ともに全国平均（=1.0）を上回っている。なお、今後は入院患者数が増加すると見込まれる疾患である。
 - ・外傷系
医療圏のシェア率については5番目に多く、効率性指数・複雑性指数ともに全国平均（=1.0）を上回っている。なお、今後は入院患者数が増加すると見込まれる疾患である。

【今後の方針】（P17）

渥美半島唯一の有床医療機関・総合病院であり、有力な急性期病院から立地的に離れており、救急車の応需率が高いことから、一定の一般急性期機能を中心とし、回復期、療養病棟を備えた病床機能を維持する。

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	206床		206床
回復期	55床		55床
慢性期	55床		55床
(合計)	316床		316床

【その他の数値目標】（P18）

医療提供に関する項目

	H28実績	H29年度	H30年度	H32年度
救急車応需率	81.5%	80%以上	80%以上	80%以上
手術件数	1,398件	1,300件以上	1,300件以上	1,300件以上
紹介率	12.4%	13.0%	13.0%	13.0%
逆紹介率	18.4%	18.0%	18.0%	18.0%
地域性から近隣に診療所が少なく、かかりつけ医が当医院医師である場合が多いため紹介率は高くない状況や、急性期病院から立地的に離れている地理的な条件もあり、現状維持を基本とする。				
分娩件数	187件	170件	170件	170件
病院機能評価	継続	継続	更新受診	継続

※病床稼働率：80%

直近3年間の動向を踏まえ病床稼働率 80%（稼働病床当たり）とする。